

「長野県地域訓練コンソーシアムによる 離職者向け職業訓練コースの開発及び 検証」に係る報告書

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
長野支部長野職業能力開発促進センター

はじめに

離転職者を対象とした短期間の委託訓練や求職者支援訓練といった職業訓練プログラムは、これまで民間教育訓練機関等において実施され、そのノウハウが培われてきましたが、一方で、今後、民間教育訓練機関等を活用した委託訓練において、地域で必要な能力開発機会を確保する際には、より就職可能性を高めることができる職業訓練コースの提供が求められています。

厚生労働省の「非正規雇用労働者の能力開発抜本強化に関する検討会」の報告書（平成24年12月21日公表）においても、「身近な地域で、必要な訓練を受けることができるよう、地域の能力開発の拠点として、コンソーシアム方式で、地域の公共職業訓練機関、大学等教育機関を活用して、経済団体等と連携・協力しながら、地域や社会全体の人材ニーズを踏まえた能力開発機会を身近な場で提供していくことが必要である」として、その際には「公共職業訓練機関や業界団体等が連携・協力して効果的な訓練カリキュラム等を開発・普及させていくこと」や「民間教育訓練機関の質を向上させること」が重要な取組みとされています。

また、政府の「日本再興戦略」（平成25年6月14日閣議決定）においても、「地域レベルの産学官コンソーシアムの組成による就職可能性を高める訓練コースの開発・実施等によるフリーター等の正規雇用化支援を実施する」と明記されています。

これらを踏まえ、企業ニーズ等を踏まえた、より就職可能性を高めるための職業訓練コースを開発するため、長野支部長野職業能力開発促進センターにおいて、長野県、長野労働局、長野県経営者協会、長野県工業高校校長会、長野県専修学校各種学校連合会、長野県商工会議所連合会、長野県商工会連合会、長野県中小企業団体中央会、長野県建設業協会、日本労働組合総連合会長野県連合会、長野県専修学校各種学校連合会によるネットワークを構築し、長野県地域訓練コンソーシアム（以下「コンソーシアム」という。）を組織しました。当該コンソーシアムにおいて、次の2分野において職業訓練コースを開発し、委託訓練の実施を通じた訓練カリキュラムの検証を行い、その結果を踏まえてモデルカリキュラムとして取りまとめました。

本報告書はこれら一連の成果を取りまとめたものです。本事業の成果が、今後の職業訓練の参考となれば幸いです。

最後に、本事業の推進にあたって多大なご協力をいただいたコンソーシアム委員並びに関係各位に対し、厚くお礼を申し上げます。

目 次

	頁
1 コンソーシアムの概要	1
2 長野県地域訓練コンソーシアム委員	2
3 分野選定の背景	
(1) 建設分野(建設機械サービス科)	3
(2) サービス分野(ビジネス・サービススキル養成科)	4
4 検証訓練の実施状況及び検証結果	
(1) 建設分野(建設機械サービス科)	5
(2) サービス分野(ビジネス・サービススキル養成科)	11
5 本事業の成果物について	
(1) 建設機械サービス分野(建設機械サービス科)	15
(2) サービス分野(ビジネス・サービススキル養成科)	16

資料関係

I 建設機械サービス分野

「建設機械サービス科」関連資料一覧

- ・ 委託訓練モデルカリキュラム 118
 (企業現場実習付き)(資料 1-①)
- ・ 委託訓練モデルカリキュラム 219
 (「日本版デュアル訓練」若年者向けコース)(資料 1-②)
- ・ 科目の内容・細目シート

II サービス分野

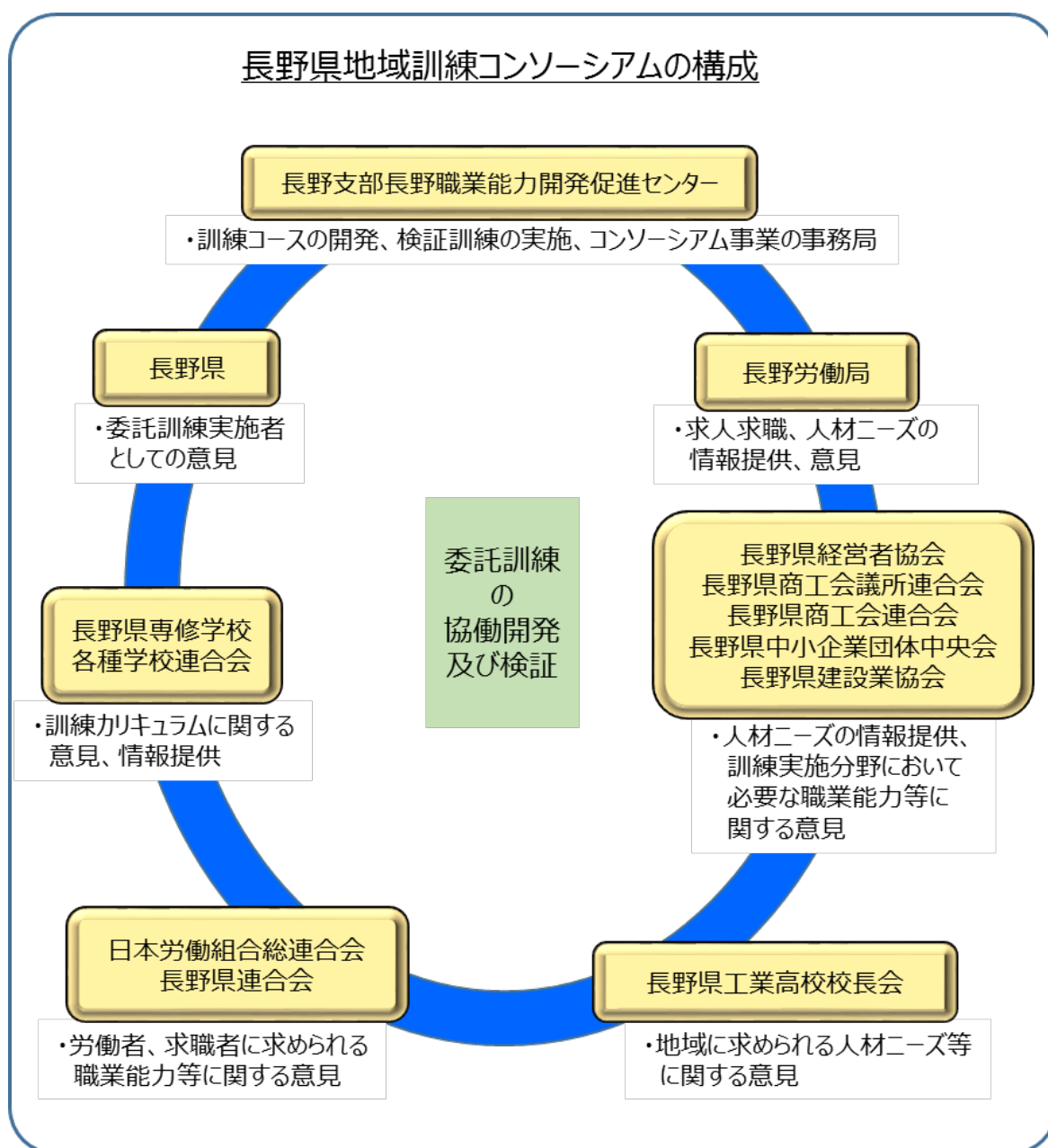
「ビジネス・サービススキル養成科」関連資料一覧

- ・ 委託訓練モデルカリキュラム (資料 2)32
- ・ 科目の内容・細目シート

1 コンソーシアムの概要

地域の人材ニーズ等を踏まえた職業訓練コースを開発するため、長野支部長野職業能力開発促進センターに、長野県、長野労働局、長野県内の企業・事業主団体、日本労働組合総連合会長野県連合会、長野県工業高校校長会、長野県専修学校各種学校連合会によるネットワークを組織し、企業・事業主団体が求める知識・能力を職業訓練に取り込む連携体制（地域コンソーシアム）を構築しつつ、離職者向け職業訓練コースの開発を行った。

なお、コンソーシアムの開催概要については以下のとおり。



開催回	開催日	議題等
第 1 回	平成26年8月27日	・コンソーシアム事業の概要について ・長野県地域訓練コンソーシアムにおいて開発する離職者向け職業訓練コースの分野選定について ・開発する職業訓練コースのカリキュラム概要について
第 2 回	平成26年11月19日	・企画競争の実施結果について ・委託先候補の加減案について ・募集期間や選考について
第 3 回	平成27年7月9日	・離職者向け職業訓練コース（検証訓練）の進捗状況について、
第 4 回	平成 28 年 1 月 29 日	・離職者向け職業訓練コース開発（検証訓練）の結果報告について

2 長野県地域訓練コンソーシアム委員

座長 長野支部長野職業能力開発促進センター所長
 長野県産業労働部人材育成課長
 長野労働局職業安定部地方訓練受講者支援室長
 長野県建設業協会専務理事
 長野県商工会議所連合会常務理事
 長野県経営者協会専務理事
 長野県商工会連合会専務理事
 長野県中小企業団体中央会専務理事
 日本労働組合総連合会長野県連合会事務局長
 長野県専修学校各種学校連合会事務局長
 長野県工業高校校長会会長

3 分野選定の背景

長野県において開発する離職者向け訓練コースとして、県内の産業政策及び求人・求職者の動向を踏まえ、求人・求職のニーズがあることや、これまで委託訓練として実施していないこと、さらには既存コースをブラッシュアップさせることにおいて、より就職可能性が高まる訓練コースの開発が可能である等の観点から検討し、長野地域訓練コンソーシアムにおいて、以下の2分野について開発することとして選定をした。

(1) 建設分野

国内における建設労働者の人材や人手不足は、平成4年をピークに減少傾向が続いてきた建設投資が平成22年を底に、増加に転じ、その後も、公共工事の増加に加え、民間建設工事も増加するなどの影響で、回復基調となっている。一方、これまで長らく続いていた、建設投資の減少や受注競争の激化等により、建設現場で働く技能労働者については、高齢化に加え、若年入職者の減少という構造的な大きな問題が生じている。

なお、建設技能労働者数は、平成9年の455万人をピークとして平成22年には331万人まで減少し、その後は増加に転じるものの、建設業関連職種の有効求人倍率については、景気回復等により上昇傾向にある。特に下請け専門工事業において人手・人材不足が顕著であり、地域の訓練施設が有機的に連携し、より効率的に入職段階での教育訓練を通じ人材育成を図ることが求められている。更に平成26年6月に閣議決定された「日本再興戦略（改定版）」において、人材不足分野である建設業における人材確保・育成対策が掲げられたところ、専門工事職種（型枠工、鉄筋工、とび工、等）の就業希望者向け訓練を広域的に実施できる訓練機関が絶対的に不足しており、かつノウハウを有する機関の地域偏在が著しい状況にあることを踏まえ、国として新たな訓練環境の整備及び訓練実現に対する支援を早急に行うため、平成27年度から「建設労働者緊急育成支援事業」の取り組みを開始した。

長野県においても長野県建設業協会の調査（図1・2を参照）結果より、県内の建設分野における平成25年度の新規入職者が135人、退職者が297人と新規入職者の2倍以上の従業者が辞めて、建設現場では高齢化が進行し、若年者労働力の不足や次世代への技術継承がスムーズに進んでいない。

このような中で県内では、建設分野の具体的な訓練実施機関が無いことから、当該分野の離職者訓練を実施しておらず、現状の建設業界の人材・人手不足という喫緊の地域ニーズ等を踏まえて、慢性的かつ深刻な建設労働者不足の解消に向け、人材確保の幅広い底上げや柔軟に裾野を拡げるという観点より、現状の県内で随一、訓練が可能である建設現場作業の建設機械オペレータ人材を養成する職業訓練コースを新たに開発し、訓練の受講機会の確保や建設分野への就職の可能性を高めるようコンソーシアム検証訓練の開発分野として選定をした。

図1【平成25年度4月新規学卒入職者数
及び年度内退職者数】

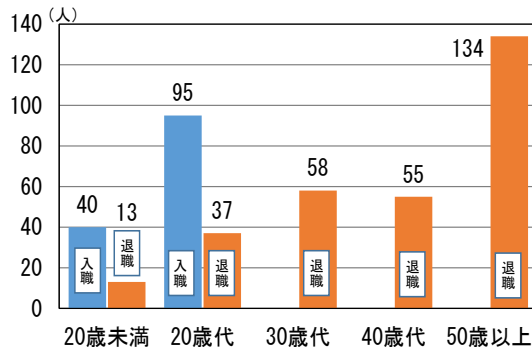


図2【平成25年度内退職者数分布】
(回答数 225 社)

	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳以上	計
事務系	0	5	12	9	17	43
営業系	0	9	6	7	15	37
技術系	8	10	27	25	51	121
技能系	5	13	13	14	51	96
計	13	37	58	55	134	297

(長野県建設業協会「平成26年4月会員企業調査」による)

【長野県建設業協会からの意見】

全般的な建設現場作業員、特に型枠工や鉄筋工が不足している状況の中、コンソーシアム事業の建設機械訓練コースの開発により、全般的な建設作業員の確保に向けた裾野の広がりや、作業員不足の底上げにも繋がるものと認識しており、この取り組みに有難く感謝する。

【長野県からの意見】

県内において喫緊の最重要課題である建設業界の人材・人手不足について、その解消の一つの方策として、今回の訓練開発に期待をしている。

(2) サービス分野

長野県では、平成26年3月に「長野県中小企業振興条例」が公布・施行され、地域に根差した商業・サービス業・地場産業・観光産業等の振興を図ることや、中小企業者の需要に応じた人材の育成・確保を図るために職業訓練の実施等の措置を講ずること等を通じて、総合的な中小企業の振興を図る取り組みを行っている。

また、長野県は年間を通じて観光等で訪れる来県者が多く、特に平成26年においては、銀座NAGANOの設置による長野県の物産・観光PRの強化、平成27年においては北陸新幹線（長野経由）の金沢延伸、善光寺御開帳等の効果により、これまで以上に来県者が増え、それに伴って県内サービス業の求人ニーズも高まることが見込まれている。

さらに、長野県の全事業所（108,638事業所）のうち、サービス業の事業所数（42,170事業所）が4割近くを占めて（図3参照）おり、サービス業への雇用の場を確保することについては十分な可能性がある。また現在、サービス分野の委託訓練は県内において実施しておらず、パソコン等の内容を加えたブラッシュアップの実施により、サービス分野への就職の可能性がより高まっていくことから、コンソーシアム検証訓練において開発する分野として選定をした。

図3【長野県の事業所数・従業員数】

産 業	事業所数					従業員数				
	平成21年 基礎調査		平成24年 活動調査		増減率 (%)	平成21年 基礎調査		平成24年 活動調査		増減率 (%)
		構成比(%)		構成比(%)			構成比(%)		構成比(%)	
全産業	117,748	100.0	108,638	100.0	▲ 7.7	916,274	100.0	867,551	100.0	▲ 5.3
農林漁業	1,074	0.9	1,054	1.0	▲ 1.9	11,326	1.2	11,687	1.3	3.2
鉱業、採石業、砂利採取業	126	0.1	81	0.1	▲ 35.7	880	0.1	567	0.1	▲ 35.6
建設業	14,551	12.4	12,926	11.9	▲ 11.2	76,023	8.3	67,266	7.8	▲ 11.5
製造業	12,317	10.5	11,658	10.7	▲ 5.4	213,505	23.3	208,404	24.0	▲ 2.4
電気・ガス・熱供給・水道業	128	0.1	108	0.1	▲ 15.6	3,786	0.4	3,644	0.4	▲ 3.8
情報通信業	1,121	1.0	982	0.9	▲ 12.4	14,831	1.6	12,746	1.5	▲ 14.1
運輸業、郵便業	2,220	1.9	2,020	1.9	▲ 9.0	43,674	4.8	41,700	4.8	▲ 4.5
卸売業、小売業	28,711	24.4	25,547	23.5	▲ 11.0	189,449	20.7	168,136	19.4	▲ 11.2
卸売業	6,305	5.4	5,991	5.5	▲ 5.0	51,722	5.6	46,266	5.3	▲ 10.5
小売業	22,406	19.0	19,556	18.0	▲ 12.7	137,727	15.0	121,870	14.0	▲ 11.5
金融業、保険業	1,763	1.5	1,724	1.6	▲ 2.2	21,574	2.4	21,843	2.5	1.2
不動産業、物品賃貸業	8,012	6.8	7,437	6.8	▲ 7.2	20,394	2.2	19,063	2.2	▲ 6.5
学術研究、専門・技術サービス業	4,411	3.7	4,118	3.8	▲ 6.6	21,191	2.3	19,456	2.2	▲ 8.2
宿泊業、飲食サービス業	17,323	14.7	15,717	14.5	▲ 9.3	91,298	10.0	85,586	9.9	▲ 6.3
生活関連サービス業、娯楽業	9,259	7.9	8,738	8.0	▲ 5.6	38,883	4.2	34,886	4.0	▲ 10.3
教育、学習支援業	2,997	2.5	2,820	2.6	▲ 5.9	16,818	1.8	15,895	1.8	▲ 5.5
医療、福祉	5,835	5.0	6,067	5.6	4.0	84,822	9.3	94,489	10.9	11.4
複合サービス事業	1,052	0.9	906	0.8	▲ 13.9	11,913	1.3	9,941	1.1	▲ 16.6
サービス業(他に分類されないもの)	6,848	5.8	6,735	6.2	▲ 1.7	55,907	6.1	52,242	6.0	▲ 6.6

(平成24年度経済センサス結果概況による)

【長野県商工会議所連合会、他】

サービス分野の仕事に携わるにあたっては、特にホスピタリティーや接客対応のスキルが重要視されており、これらのスキルを向上させる訓練は業界より求められている。また、北陸新幹線（長野経由）の金沢延伸、善光寺御開帳等の効果により、平成27年以降は更に来県者の増大が見込まれ、サービス業求人ニーズの高まりも全体的に見え始めており、今回の訓練開発に期待をしている。

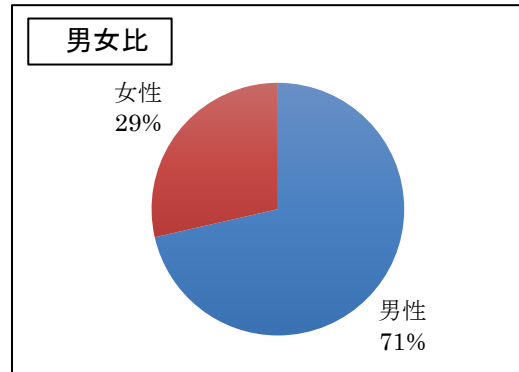
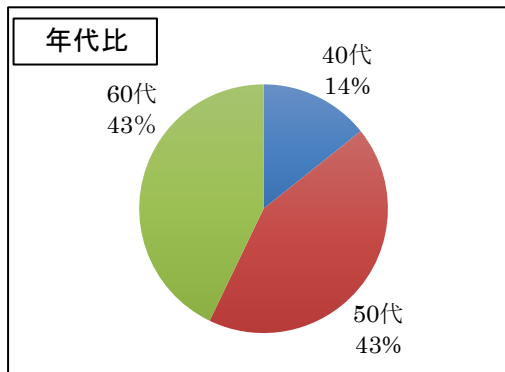
4 検証訓練の実施状況及び検証結果

(1) 建設分野【建設機械サービス科】

訓練実施機関	訓練開始日	訓練終了日	訓練期間	定員
株式会社アジマ 自動車学校	平成27年2月2日	平成27年5月1日	3か月	20人

イ 応募・入所状況

応募者数	入所者数	(うち女性)	年代別				
			20代	30代	40代	50代	60代
12人	7人	2人	0人	0人	1人	3人	3人



当該検証訓練コース定員20名の受講者募集は、12月から1月に掛けて、ポリテクセンター長野HPに募集案内の掲載や、県内ハローワーク（飯田・伊那・岡谷）窓口で募集チラシを配布すると共に、南信州新聞への広告掲載、地元の飯田市、喬木村等の広報誌（広告掲載含む）掲載などのPRに努め、訓練実施機関の施設見学を兼ねる訓練説明会を開催したが、当初の募集期間だけでは定員を満たさず、定員確保の観点より二次募集を行った。

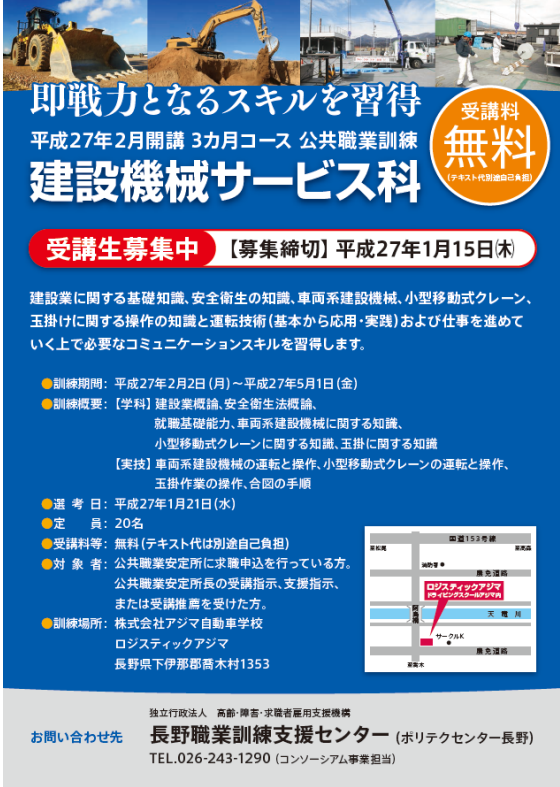
このような取り組みの結果、12人の応募があり選考判定により、受験者10人のうち9人の合格となったが、合格者のうち2人が就職決定による辞退があり、入所者数は7人となった。

従って最終的な入所状況は、定員20名のうち7人（男性5名、女性2名）が入所し、定員充足率が35.0%であった。また年齢については、50歳台3人・60歳代3人と40歳代の1名を除く平均年齢は概ね60歳となり、入所者全体の平均年齢においても57.1歳と高齢者による入所状況であった。



また、応募状況や定員充足率等が低迷した主な要因としては、県内総人口209万人のうち、実施機関が所在する南信地域（飯田地区、他）は、17万人と全人口の占有率が8%と低く、かつ生産者人口の少ない比較的に高齢な地域であったことと共に、建設分野の仕事内容イメージが屋外作業の肉体労働など3K的要素が強く、ハローワーク窓口で説明しても求職者の関心が低かったことや、受講者募集の中心であるハローワーク飯田が長野や松本より求人求職の件数が少なく、募集時期が1年の中でも求職活動が比較的に活発でない年末年始が入る冬場の厳しい時期の12月から1月であったことなどが大きく影響した。

【募集チラシ】



即戦力となるスキルを習得
平成27年2月開講 3カ月コース 公共職業訓練
建設機械サービス科

受講料 無料
(テキスト代別途自己負担)

受講生募集中 【募集締切】平成27年1月15日(木)

建設業に関する基礎知識、安全衛生の知識、車両系建設機械、小型移動式クレーン、玉掛けに関する操作の知識と運転技術(基本から応用・実践)および仕事を進めていく上で必要なコミュニケーションスキルを習得します。

- 訓練期間: 平成27年2月2日(月)～平成27年5月1日(金)
- 訓練概要: 【学科】建設業概論、安全衛生法概論、就職基礎能力、車両系建設機械に関する知識、小型移動式クレーンに関する知識、玉掛けに関する知識
【実技】車両系建設機械の運転と操作、小型移動式クレーンの運転と操作、玉掛け作業の操作、合図の手順
- 選考日: 平成27年1月21日(水)
- 定員: 20名
- 受講料等: 無料(テキスト代は別途自己負担)
- 対象者: 公共職業安定所に求職申込を行っている方、公共職業安定所長の受講指示、支援指示、または受講推薦を受けた方。
- 訓練場所: 株式会社アジマ自動車学校
ロジスティックアジマ
長野県下伊那郡喬木村1353

お問い合わせ先 独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構
長野職業訓練支援センター (ポリテクセンター長野)
TEL.026-243-1290 (コンソーシアム事業担当)

【見学会チラシ】



公共職業訓練
3カ月コース 平成27年2月開講
建設機械サービス科

訓練内容説明会 開催のお知らせ
【！学べる事・学ぶ環境がわかる！】

日時 平成27年1月13日(火) ≪ 1回目: 10:30～11:30
2回目: 14:00～15:00
14日(水) ≪ 1回目: 10:30～11:30
2回目: 14:00～15:00

会場 株式会社アジマ自動車学校
ロジスティックアジマ
(訓練実施施設)
下伊那郡喬木村1353

※予約不要です。直接会場にお越しください。
※駐車場有り。

お問い合わせ先 ロジスティックアジマ
☎ 0265(33)2550
担当:田中

□ 就職の状況 (就職率 85.7%)

修了者数			中退者数		
	(うち女性)	(うち就職)		(うち女性)	(うち就職)
7人	2人	6人	0人	0人	0人

入所した7人は、中途退所することなく所定の要件を満たすと同時に全員が訓練期間中に車両系建設機械、小型移動式クレーン、玉掛けの運転・技能資格を取得して訓練を修了したが、訓練修了時において就職は未決定であった。

なお、訓練修了3カ月後の最終時においては、6人の就職が決まり、就職率は85.7%、関連就職率は4名おり66.7%であったが、直接的な土木・建設会社に就職出来た者は残念ながらいなかった。

建設機械サービス科カリキュラム

訓練科名		建設機械サービス科		就職先の 職 務	建築・土木・製造業等に おける資材の運搬、土木機械 のオペレーター
訓練期間		平成 27 年 2 月 2 日～平成 27 年 5 月 1 日 (3 か月)			
訓練目標		建設業に関する基礎知識、安全衛生の知識、車両系建設機械、小型移動式クレーン、 玉掛けに関する知識と運転技術（基礎から応用・実践）及び仕事を進めていく上で 必要なコミュニケーションスキルを習得する。 【取得資格】車両系建設機械運転技能講習修了証（整地・運搬・掘削・積込） 小型移動式クレーン運転技能講習修了証 玉掛技能講習修了証			
仕上がり像		現場作業員として、また現場監督として、その業務に必要な資格と技能を保有し、 プロの土木建築現場人材として心技体において標準化した人材を形成することを 仕上がり像として位置付ける。			
訓 練 の 内 容	科 目		科 目 の 内 容		訓練時間
	学 科	建設業概論	建設業に従事するに当たって必要な基礎知識（鉄筋・ 型枠等を含む）		35 時間
		労働安全衛生法概論	労働安全に資するために必要な知識		14 時間
		就職基礎能力	就職に関する基礎知識とスキル		35 時間
		車両系建設機械に関す る知識	車両系建設機械の操作に関する法的に必要な知識・応 用知識		21 時間
		小型移動式クレーンに 関する知識	小型移動式クレーンの操作に関する法的に必要な知 識・応用知識		21 時間
		玉掛けに関する知識	玉掛作業に関する法的に必要な知識		21 時間
	実 技	車両系建設機械の運転 と操作	車両系建設機械の操作資格を取得に当たって必要な 技能・実作業に必要な技能。		56 時間
		小型移動式クレーンの 運転と操作	小型移動式クレーンの操作資格の取得に当たって必 要な技能・実作業に必要な技能。		56 時間
		玉掛作業の操作	玉掛作業の資格取得に当たって必要な技能・実作業に 必要な技能。		56 時間
		合図の手順（含む社会人 基礎力）	作業コミュニケーションツールの利用技法		14 時間
訓練時間総合計 329 時間（学科 147 時間、実技 182 時間）					
主要な機器設備 (参 考)		車両系建設機械 2 基、小型移動式クレーン機材 2 機、玉掛用具 1 式			

ハ 訓練実施

(イ) 訓練内容

当該検証訓練は3ヶ月間の訓練であり、1か月目は建設業概論、労働安全衛生、建機の学科(車両系建設機械・小型移動式クレーン・玉掛)、2ヶ月目から3ヶ月月中旬に掛けて、建機の実技(基本・応用・実践)、更に3ヶ月月中旬以降は就職基礎能力(アイスブレイク・コミュニケーション等)の訓練を集中的に実施した。

(ロ) アンケート結果

訓練期間中に受講者に対してアンケート調査を実施した。

その主な、内容は次のとおりである。

① 就職先について

訓練開始時は、受講者7人のうち6人が雇用形態に関わらず、土木・建設の仕事に就きたいと回答をしたが、訓練終了時には3人までに減少する。また残りの4人は、残念ながら3人が土木・建設業以外の仕事を希望し、未定1人の回答結果となった。

② 科目の内容について

学科は未回答者1人を除く、全受講者が「良い」と回答。

③ 科目の訓練時間について

学科は未回答者1人を除く、全受講者が「ちょうど良い」と回答。

④ 習得度(自己評価)について

学科は、未回答者1人を除く、9割の受講者が「できた」・「だいたいできた」と回答。

実技は、未回答者1人を除く、9割近くの受講者が「できた」・「だいたいできた」と回答。

但し、車両系建設機械の運転と操作については、6人のうち3人が「あまりできなかった」と回答している。

⑤ 就職支援について

殆どの受講者がキャリア・コンサルティング、アイスブレイク、コミュニケーションの支援について、「とても役に立った・役に立った」と回答。

また、就職に必要な技能・知識を明確にすることができたかについても、殆どの受講者が、「できた・ややできた」と回答。

しかしながら就職結果は高齢の理由により、訓練受講後は肉体的な自信が無く、建設・土木関連会社への就職希望の断念や、求人応募はしたものの高齢求職者であったことなどから、直接的な建設分野への就職には中々繋がらない厳しい結果となった。

⑥ 受講環境等について

概ねが「満足している」と回答。

(二) カリキュラム内容等の改善

今回の検証訓練実施機関の所在地は、長野県内においても比較的に高齢者の比重が高い地域であったことにより、入所者が50歳代3名・

60歳代3名と、40歳代の1名を除くと概ね平均年齢が60歳の高齢者中心の受講者であった。

従って、このような地域性やアンケート結果の良好な状況等を鑑みた上での改善点は、①ハローワークにおける応募希望者への事前キャリア・コンサルティングの強化を図る。②高齢者でも土木建設関連の就職に繋がるように、地元の土木・建設業界との協力連携を密に高めた中で地域を取り込み、新たに実技実体験の現場企業実習を10日間程導入付加する技能実技の充実を図る ③若しくは地域性を考慮する中で、土木・建設業界が求める若年者を対象にする「日本版デュアル訓練（若年者向けコース）」の導入などの新たな工夫や改善を施す柔軟な対応性が重要である。なお、今回検証した訓練は南信地域であったことなどを鑑み、②の日本版デュアル訓練（若年者向け）を導入した方が、効果的により就職の可能性を高めることが出来たと判断される。

【訓練風景】

（車両系建設機械）



（小型移動式クレーン）



（玉掛け）

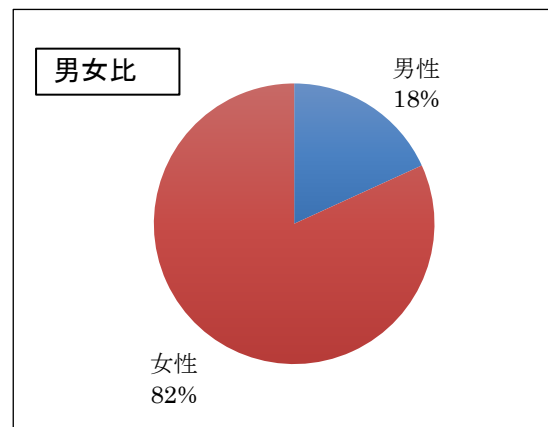
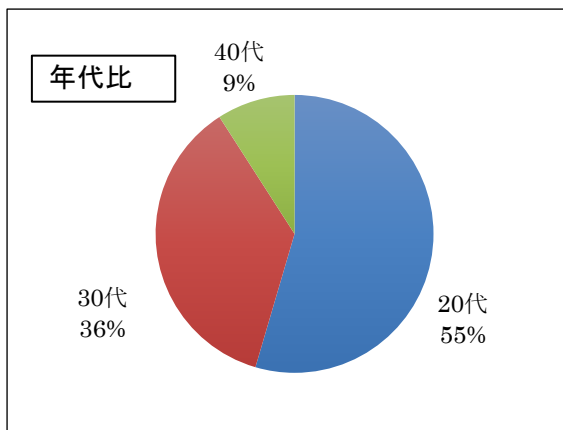


(2) サービス分野【ビジネス・サービススキル養成科】

訓練実施機関	訓練開始日	訓練終了日	訓練期間	定員
学校法人 未来学舎	平成 27 年 2 月 9 日	平成 27 年 5 月 8 日	3 か月	20 人

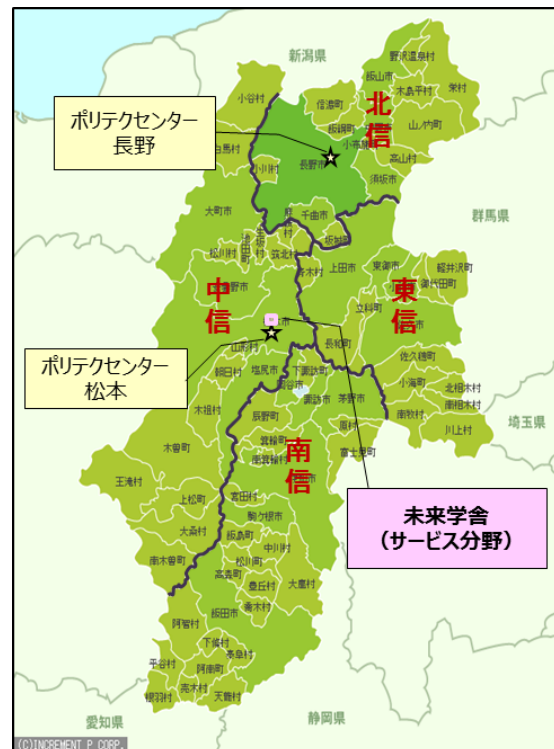
イ 応募・入所状況

応募者数	入所者数	年代別				
		(うち女性)	20 代	30 代	40 代	50 代
14 人	11 人	9 人	6 人	4 人	1 人	0 人



当該検証訓練コース定員 20 人の受講者募集は、12 月から 1 月に掛けて、ポリテクセンター長野 HP に募集案内の掲載や、県内ハローワーク（松本・大町・岡谷・諏訪）窓口で募集チラシを配布すると共に、信濃毎日新聞、中日新聞、市民タイムスへの広告掲載や塩尻市等の広報誌掲載などの PR に努め、訓練実施機関の施設見学を兼ねる訓練説明会を開催したが、当初の募集期間だけでは定員を満たさず、定員確保の観点より二次募集を行った。

このような取り組みの結果、14 人の応募があり選考判定により、受験者 13 人全員の合格となったが、合格者のうち 2 人が就職決定により辞退をしたため、入所者数は 11 人となった。



従って最終的な入所状況は、定員20名のうち11人（男性2名、女性9名）が入所し、定員充足率は55.0%であった。

なお、募集時期が1年の中でも求職活動が比較的活発でない年末年始が入る冬場の厳しい時期の12月から1月であったものの、ハローワーク松本管内における職業訓練の定員充足率は、平成26年度からは分野を問わずに60%前後の入所状況（ハローワーク松本職業訓練相談受付担当者見解）であり、今回の検証訓練の定員充足率も同様の傾向を示す結果となった。

【募集チラシ】

受講生募集 平成27年2月開講 3ヵ月コース 公共職業訓練

ビジネス・サービススキル養成科

募集締切 平成27年1月22日(木)

接客現場での広範なトータルサービス・事務スキルを学ぶ訓練です。

- PCによる文書、表計算、資料の作成と、それを接客現場で活用する知識・技術を習得します。
- 実際に活かせるWebデザイン、カラーコーディネート、接客応対技術を習得します。
- 業務に必要な、対人交渉・クレーム対応・英語等の基本スキルを学びます。
- 職業人として必要なコミュニケーションのノウハウを学びます。

取得目標資格

- 日本語ワープロ検定3級
- 情報処理技能検定試験簿記3級
- HPC作成検定4級
- サービス接客検定2級
- 日商3級販売士

訓練期間 平成27年2月9日(月)～平成27年5月8日(金)

選考日 平成27年1月28日(水) 9:30～(9:00～受付)

定員 20名

選考場所 松本職業能力開発促進センター(ポリテクセンター松本) 松本市寿北17-1

訓練場所 学校法人未来学園 専門学校未来ビジネスカレッジ 松本市港2-8-5

受講料等 無料 ※ただし、テキスト代1,700円(税込)は自己負担

対象者 ・公共職業安定所に求職申込を行っている方
・公共職業安定所長の受講指示、支援指示、又は受講推薦を受けた方

申込先 居住地を所管するハローワーク(公共職業安定所)でご相談の上、受講申込書提出

お問い合わせ先 最寄りのハローワークまたは
長野職業訓練支援センター(ポリテクセンター長野)
☎026-243-1290 <http://www3.jeed.or.jp/nagano/poly/>

【見学会チラシ】

平成27年2月9日開講 3ヵ月コース 公共職業訓練

ビジネス・サービススキル養成科

訓練内容説明会開催

～学べる事・学ぶ環境がわかる！～

※予約不要

日時 平成27年1月14日(水) 15日(木) 16日(金) 14:00～14:45
※3日間のいずれも同内容の説明です。

会場 専門学校未来ビジネスカレッジ5階501教室
(当訓練実施施設)
松本市港2-8-5 ※本地図で参照

お問い合せ先 専門学校未来ビジネスカレッジ ☎0263-26-5500 担当 浅香/花岡

※説明会用の駐車場は、ございません。お車で来校の際は、駅周辺の有料駐車場をご利用ください。

□ 就職の状況（就職率81.8%）

修了者数			中退者数		
	(うち女性)	(うち就職)		(うち女性)	(うち就職)
11人	9人	9人	0人	0人	0人

入所した11人は、中途退所することなく所定の要件を満たして全員訓練を修了した。訓練修了後3か月後の最終時では、9人の就職が決まり、就職率は81.8%、関連就職率は100%と好調な結果になった。

理由として修了者は、訓練開始時より、希望する職種の仕事内容について既に具体的なイメージが出来ており、アンケート結果にも現れていた（イメージできる3人・なんとなくイメージできる8人）ことや、訓練期間中に実施した職業人講話やキャリア・コンサルティング等により、自己理解及び就職に必要な知識・技能の明確化が着実に進み、各々が自分自身の方向性をしっかりと固められて就職活動に臨めた結果が、高い就職率等に繋がったものである。

ビジネス・サービススキル養成科カリキュラム

訓練科名		ビジネス・サービススキル養成科		就職先の職務	接客サービス・OA事務
訓練期間		平成 27 年 2 月 9 日～平成 27 年 5 月 8 日 (3 か月)			
訓練目標		・パソコンを使用した販売促進ツール（POP、チラシ、Web ページ）の作成および販売事務管理ができる。 ・サービス・流通に関する知識を用い、顧客ニーズを的確に捉えることができる。 ・接客マナー知識とコミュニケーションスキルを用い、質の高い接客ができる。			
仕上がり像		接客サービス業務・事務系職務における基礎的職務能力を有し、職業人としてのリテラシーを身につけ、関連業務の仕事に携わることができる人材			
	科 目		科 目 の 内 容		訓練時間
訓練内容	学 科	販売知識	小売業の種類、マーケティング、販売管理、マーチャンダイジング、ストアオペレーション		75 時間
		接客サービス知識	サービス接遇、対人技能、交渉技法、クレーム対応、接客英会話		33 時間
		カラーデザイン知識	色彩知識、色の見え方、色相心理・イメージ、配色効果、レイアウトとデザイン		21 時間
		パソコン基礎知識	コンピュータの基本構成と動作原理、記憶装置、周辺機器、ネットワークの構成、情報・セキュリティリテラシー		9 時間
		職業人基礎力講習	コミュニケーション理論、傾聴スキル、表現スキル、アサーション、コーチング、職業人講話		21 時間
		就職基礎能力講習	企業情報収集、応募書類の作成、面接試験対応、就職支援		32 時間
			入所式(1H)、修了式(1H)、オリエンテーション(2H)		
	実 技	ショップ運営実習	ディスプレイ、商品陳列、POP 作成、接客・接遇、ラッピング、会計処理（ipad 使用）、売上・在庫管理		24 時間
		パソコン基本操作実習	Windows8.1 基本操作、タイル・サムネイル・エクスプローラー操作、デスクトップ切替、インターネット		9 時間
		ビジネス文書作成実習	ビジネス文書作成、表作成、インデント、文字装飾、あいさつ文、画像の挿入、色調補正（Word2013）		33 時間
		表計算活用実習	表・グラフ作成、計算式入力、オートフィル、関数、絶対参照、置換、ソート、フィルター（Excel2013）		33 時間
		プレゼンテーション実習	プレゼン資料作成と発表、サムネイル、スライドデザイン、アニメーション、スライドショー（PowerPoint2013）		24 時間
		Web デザイン実習	HTML と CSS を活用したホームページ作成、リンク指定、画像配置、レイアウト、ウェブサイトの制作と発表		42 時間
訓練時間総合計 356 時間（学科 191 時間、実技 165 時間）					
主要な機器設備（参考）		電子黒板			

ハ 訓練実施

(イ) 内 容

当該訓練のカリキュラム内容は、現在、長野県委託訓練内に直接的なサービス分野関連のカリキュラムがなく、カラーコーディネートに関する知識・技能を習得する内容や、売場管理に関する知識を習得する内容等を取り入れ、全般的なサービス分野への就職により繋がるものとした。

また、通常業務で必要とされるビジネス文書作成実習等のスキルを身に付けられるように、パソコンスキル習得に係る訓練時間を１２６時間（Web デザイン実習を含め総訓練時間の３５％相当）設けるなどのブラッシュアップさせる工夫も凝らす内容とした。

(ロ) アンケート結果

訓練期間中の受講者に対してアンケート調査を実施した。

主な内容は、次のとおりである。

① 就職先について

訓練開始時では１１人のうち９人が雇用形態に関わらず、サービス業の仕事に就きたいと回答。なお、訓練修了時では６人、未回答は３人とあまり大きな変化が無かった。

② 科目の内容について

訓練終了時のアンケートでは殆どの科目で、未回答の１人を除き、９割以上の受講者が「良い」・「まあ良い」と回答。

③ 科目の訓練時間について

全般的な項目において訓練時間が短いと回答した受講者が多かったが、項目毎の習得度においては其々９割以上がほぼできたと回答していることから、実施機関等においては影響が少ないとの意見であった。

④ 習得度（自己評価）について

習得度は、未回答の１人を除き、９割近い受講者が「できた」・「だいたいできた」と回答。

但し、「販売知識」の習得度（自己評価）は、「低い」と回答した受講者が３５％おり、実施機関の報告においては定期的確認テストの結果がたまたま良くなかったことを気に掛け、その結果から自己評価を業と自分から低くしたものであり、実際は余り影響を及ぼす内容ではないとのことであったが、今回実施した「販売知識」の内容がリテールマーケティング（販売士）３級検定試験の問題演習に多くの時間を割き、実質的な必要性に乏しかった事などから、実施機関からは総訓練時間数を削減すべきとの意見が挙がっている。

⑤ 就職支援について

就職支援は、受講者は概ね９割以上が「自己理解を深めることができた」と回答。

⑥ 受講環境等について

受講環境は、９割以上の受講者が「概ね満足している」と回答。

(ハ) カリキュラム内容等の改善

アンケート等も含めて概ね良好な訓練実施内容の結果となっている。

しかし、実施機関や受講者等からの意見を聞くと、販売知識の科目については無駄な内容を整理することや、ネットショップ・Webデザイン・接客サービス等についてはもっと時間や内容の充実を図るべきとの意見が多く挙がっており、このような点をモデルカリキュラム内に反映し、総訓練時間数等の増加などの新たな技能の充実や向上に繋げる工夫改善を図る。

5 本事業の成果物について

本事業の成果物は、コンソーシアムにおいて開発した上記4の離職者向け職業訓練2コースの各カリキュラムが、それぞれ効果的な内容となっているかなど、委託訓練の実施を通して十分な検証を諮り、その結果を踏まえる中で、モデルカリキュラムとして取りまとめたものである。

(1) 建設機械サービス科

イ. 今回の検証訓練実施機関におけるカリキュラム改善は、高齢者の割合が比較的に高い地域やアンケート結果が概ね良好な状況等を鑑み、当初カリキュラムを活かしつつ、①ハローワークにおける応募希望者に対する事前のキャリア・コンサルティング強化を図る。②高齢者でも土木建設関連の就職に繋がるように、地元の土木・建設業界との協力連携を密に高める中で地域を取り込み、新たな実技実体験の現場企業実習を10日間ほど導入付加して技能向上の充実を図る。③若しくは地域性を考慮した中で、土木・建設業界が求める若年者を対象にする「日本版デュアル訓練（若年者向けコース）」を導入（訓練内容は上記同様）して、直接的な土木・建設会社へのより就職の可能性を高める。

ロ. 長野県内や全国へのモデルカリキュラムの普及

基本的には、上記イのカリキュラム改善を原則とするが、

- ① 新たな実施機関の裾野を拡げる普及の可能性を高めるのに、全国数多くある土木・建設企業等を主な実施機関対象に考えるのが必然的であり、その中で建設機械運転技能講習等は、法令上の必要不可欠な時間数の学科・実技履修を原則として、技能講習の登録教習機関への再委託を前提にした資格取得の優先とする。

その上で個々の実施機関において履修効果を高める必要性があれば、実技の各運転操作時間を今回検証訓練において実施した各56時間まで各実施機関でも行なえるものとする。

資格取得後の次のステップは、実技実習による技能向上の強化や土木・建設企業への就職の可能性を高める観点より原則、再委託の土木・

建設企業の現場実習を10～20日間程度以上、新たに付加導入する。

また、実施機関が土木・建設企業である場合は再委託せずに、実施機関内の職場体験の現場実習として10～20日間程度以上の実施も可能とする。

このような企業実習等を導入することにより、建設機械オペレータ実技は、現場での実務体験に基づく技能向上が大いに見込まれ、例えば高齢の受講者であっても実習先企業とのコンタクト等も図られる事から、より就職の可能性は高まっていくものである。(資料1-①参照)

- ② 土木建設業界が求める若年者確保の観点からは、全国における其々の地域性を考慮した中で、各地域において若年者受講生募集の方が有効的でありかつ地域の土木・建設会社への就職も効果的と判断や選択が出来る場合は、日本版デュアル訓練(若年者向けコース)を導入して業界が求める若年者の人材確保を着実に果たすものとする。
- なお、モデルカリキュラムは上記①と同様である。(資料1-②参照)

以上の①若しくは②のモデルカリキュラムは、全国における其々の地域の状況等を考慮する適正な判断に基づき、それぞれの手法訓練を導入すると共に、建設機械の機種選択等は、地域毎に需要相違があることを前提にして、必ずしも現状のモデルカリキュラムには拘らず、地元において必要性が高い機種への変更や拡充など柔軟な対応や導入を図りつつ、各地域の就職の可能性を高めていき、具体的な土木・建設業界における人材・人手不足の解消の一助とするものである。

更に県内においては、今年1月から今回の検証事業を参考に実施機関が建設会社である建設機械オペレータの委託訓練が開始されたと共に、検証実施機関のアジマ自動車も委託訓練や求職者支援訓練への参入を検討しており、今回のコンソーシアム事業をきっかけに、建設機械オペレータ訓練等への普及拡がりが深まりつつあることを申し添える。

(2) ビジネス・サービススキル養成科

当該訓練コース修了者の就職状況については、11人中、9人が就職をしており、その内容も小売業・飲食業の販売、受付業務やその他の業種の一般事務職とサービス分野に関連性が高く、関連就職率も100%の好結果であった。

しかしながら、検証訓練の趣旨や目的に基づき、更なる訓練受講者増や就職精度をより高めていくため、実施機関からの意見やアンケート調査結果等を踏まえた中で、当初カリキュラムの一部を変更して、サービス分野のニーズに沿う魅力ある内容に改善をする。

イ. 学科の一部変更

- ① 販売知識について(訓練時間の縮減並びに内容変更)

訓練時間や習得度のアンケートなど実施機関からの意見を受け入れ判断する中では、販売士試験の問題演習に掛ける時間数が多く、

必要性も乏しい事などから、現在の75時間を30時間までに抑え留める。なお、時間縮減だけではなく、内容的には具体的な店舗業務の流れや店舗管理等の経営知識など実務面を充実させる。

② ネットショップの知識について（新規追加）

新たに、ネットショップの知識を20時間付加充実させる。

理由は、実施機関の意見等を受け入れ判断する中で、各サービス分野の企業・商店などが、ネットショップを活用して着実に販売実績を伸ばしていることや、その専門人材が不足する状況等を勘案し、新たに20時間の学科知識を充実付加する。

因みにネットショップとの関連性が強く、かつネットショップにおいて必要性が高い下記のロ②のWebデザイン実習についても、相乗効果の観点より 大幅な時間増を図るものとしている。

③ 接客英会話について（新規追加）

新たに接客英会話を10時間、充実付加する。

理由は、実施機関等の意見を受け入れ判断する中で、特に昨今の外国人訪問客の需要急増等の状況を鑑み、外国人顧客の対応を様々な状況想定に基づくロールプレイング方式によって、円滑な接客英会話がマスター出来るよう、新規に10時間、充実付加する。

ロ. 実技の一部変更

① プレゼンテーション実習について（履修項目の取り止め）

プレゼンテーション（24時間）は、カリキュラム編成上、独立項目としては取り止める。

理由は、Webデザイン実習の機能充実を図る観点より、プレゼンテーションの独立項目として取り止め、改めてWebデザイン実習の中に組み直し、Webデザイン実習の機能強化を図る

② Webデザイン実習について（大幅な時間増）

上記イ②のネットショップと同様に、各サービス分野の企業・商店がWebデザインを活用して着実にネットショップ部門の販売実績を伸ばしていることや、その専門人材が不足する状況等から全般的な訓練ニーズや需要性が高く、幅広く実務面を拡げる観点より、現在の24時間から100時間への大幅な時間増を図り、実質的な技能の充実や向上に繋げる。

更に県内においては、検証実施機関の未来学舎が委託訓練や求職者支援訓練への参入を検討しており、今回のコンソーシアム事業をきっかけに、ビジネス・サービススキル養成科訓練等への普及拡がりが始まりつつある事を申し添える。

最後に以上が、長野県地域訓練コンソーシアムの離職者訓練検証事業として建設分野並びにサービス分野に取り組み、そして各々のモデルカリキュラムに取りまとめたものであり、この成果物が今後、より就職を高める職業訓練の一つの参考になれば幸いであると思っている。

委託訓練モデルカリキュラム

訓練科名			建設機械サービス科		就職先の職務	建築・土木や製造業における資材の運搬や土木機械のオペレーター	
訓練期間			平成 年 月 日～平成 年 月 日 (3か月)				
訓練目標			建設業に関する基礎知識、安全衛生の知識、車両系建設機械、小型移動式クレーン、玉掛けに関する知識と運転技術（基礎から応用・実践）及び仕事を進めていく上に必要なコミュニケーションスキルを習得する。				
仕上がり像			重機を安全かつ適切に操作できる能力を有し、職業人としてのリテラシーを身につけ、関連業務の仕事に携わることが出来る人材。				
訓練の内容	科 目		科 目 の 内 容			訓練時間	
	学 科	社会	開講式・修了式 オリエンテーション			—	
		建設業概論	・ 建設業に従事するに当たって必要な基礎知識 (構造力学、土質工学、治水工学、防災対策、自然環境保全基礎工、コンクリート、工舗装工等)			21	
		安全衛生法概論	・ 労働安全に資するために必要な知識			14	
		車両系建設機械に関する知識	・ 車両系建設機械の操作に関する法的に必要な知識・応用知識			13	
		小型移動式クレーンに関する知識	・ 小型移動式クレーンの操作に関する法的に必要な知識・応用知識			13	
		玉掛けに関する知識	・ 玉掛けに関する法的に必要な知識・応用知識			12	
		就職基礎能力	・ 就職相談 面接対策 コミュニケーション能力と自己啓発 ・ ジョブカードの書き方とキャリア・コンサルティング、職業人講話			35	
	実 技	車両系建設機械の運転と操作	・ 車両系建設機械の操作に当たって必要な基本技能、応用・実践的な技能			25～56	
		小型移動式クレーンの運転と操作	・ 小型移動式クレーンの操作に当たって必要な技能、応用・実践的な技能			7～56	
		玉掛け作業の操作	・ 玉掛け作業に当たって必要な基本技能、応用・実践的な技能			7～56	
		合図の手順	・ 作業コミュニケーションツールの利用方法			14	
		企業現場実習 (土木・建設会社へ委託)	車両系建設機械・小型移動式クレーン・玉掛け作業の操作・運転を中心にした企業現場の実務実習作業			60～139	
訓練時間総合計			学科	108	実技	192～242	300～350
主要な機器設備 (参考)			パソコン プロジェクタ 車両系建設機械 2機 小型移動式クレーン 2機 玉掛用具 1式				
留意事項			・ 建設機械オペレータ運転技能講習は、法令上の必要不可欠な時間内の学科・実技履修を原則とし、技能実習指定実施機関への再委託も可能として資格取得を優先させる。また、実施機関において履修効果を高める必要性があれば、実技の各運転操作を56時間まで延長することも可能とする。 ・ 実施機関が土木・建設会社の場合は、企業現場実習を再委託せずに、実施機関内の企業内実習として現場職場体験を可能とする。				

委託訓練モデルカリキュラム (若年者向けコース「日本版デュアル訓練」)

訓練科名			建設機械サービス科		就職先の職務	建築・土木や製造業における資材の運搬や土木機械のオペレーター	
訓練期間			平成 年 月 日～平成 年 月 日 (3か月)				
訓練目標			建設業に関する基礎知識、安全衛生の知識、車両系建設機械、小型移動式クレーン、玉掛けに関する知識と運転技術（基礎から応用・実践）及び仕事を進めていく上に必要なコミュニケーションスキルを習得する。				
仕上がり像			重機を安全かつ適切に操作できる能力を有し、職業人としてのリテラシーを身につけ、関連業務の仕事に携わることが出来る人材。				
訓練の内容	科 目		科 目 の 内 容			訓練時間	
	学 科	社会	開講式・修了式 オリエンテーション			—	
		建設業概論	・ 建設業に従事するに当たって必要な基礎知識 (構造力学、土質工学、治水工学、防災対策、自然環境保全基礎工、コンクリート、工舗装工等)			21	
		安全衛生法概論	・ 労働安全に資するために必要な知識			14	
		車両系建設機械に関する知識	・ 車両系建設機械の操作に関する法的に必要な知識・応用知識			13	
		小型移動式クレーンに関する知識	・ 小型移動式クレーンの操作に関する法的に必要な知識・応用知識			13	
		玉掛けに関する知識	・ 玉掛けに関する法的に必要な知識・応用知識			12	
		就職基礎能力	・ 就職相談 面接対策 コミュニケーション能力と自己啓発 ・ ジョブカードの書き方とキャリア・コンサルティング、職業人講話			35	
	実 技	車両系建設機械の運転と操作	・ 車両系建設機械の操作に当たって必要な基本技能、応用・実践的な技能			25～56	
		小型移動式クレーンの運転と操作	・ 小型移動式クレーンの操作に当たって必要な技能、応用・実践的な技能			7～56	
		玉掛け作業の操作	・ 玉掛け作業に当たって必要な基本技能、応用・実践的な技能			7～56	
		合図の手順	・ 作業コミュニケーションツールの利用方法			14	
		企業現場実習 (土木・建設会社へ委託)	車両系建設機械・小型移動式クレーン・玉掛け作業の操作・運転を中心にした企業現場の実務実習作業			60～139	
訓練時間総合計			学科	108	実技	192～242	300～350
主要な機器設備 (参考)			パソコン プロジェクタ 車両系建設機械 2機 小型移動式クレーン 2機 玉掛用具 1式				
留意事項			・ 建設機械オペレータ運転技能講習は、法令上の必要不可欠な時間内の学科・実技履修を原則とし、技能実習指定実施機関への再委託も可能として資格取得を優先させる。また、実施機関において履修効果を高める必要性があれば、実技の各運転操作を56時間まで延長することも可能とする。 ・ 実施機関が土木・建設会社の場合は、企業現場実習を再委託せずに、実施機関内の企業内実習として現場職場体験を可能とする。				

科目の内容・細目シート

科目	建設業概論	時間	21時間	
到達水準	建築に関する基本構造、荷重、構造材料、柱、梁についての概要を知っている。			
	土木に関する基礎技術と施工実態事例を知っている。			
科目の内容	内容の細目	訓 練 時 間		
		学科	実技	
建設業に従事するに当たって必要な基礎知識	建築、土木に関する基礎知識	21		
	イ．構造力学について			
	ロ．土質工学について			
	ハ．治水工学について			
	ニ．防災対策について			
	ホ．自然環境保全について			
	ヘ．基礎工について			
	ト．コンクリートについて			
	チ．工舗装工について			
	リ．鉄筋工について			
	ヌ．型枠工について			
合計		21		
使用する機械器具等				
備 考				

科目の内容・細目シート

科目	安全衛生法概論	時間	14時間
到達水準	安全衛生法の概要と趣旨を理解している。		
	救急処置と対処法を知っている。		
科目の内容	内容の細目	訓練時間	
		学科	実技
労働安全に資するために必要な知識	イ. 労働安全衛生法の説明 ロ. リスクマネジメントについて ハ. 労働安全の基礎知識 ニ. 心肺蘇生法 A E D の使用方法と実践 ホ. 応急処置と対処法	14	
		合計 14	
使用する機械器具等	パソコン、プロジェクタ		
備考			

科目の内容・細目シート

科目	車両系建設機械に関する知識	時間	13時間	
到達水準	車両系建設機械の種類と機能を知っている。			
	運転に必要な力学を知っている。			
	装置の構造を知っている。			
	関係法令を理解している。			
科目の内容	内容の細目	訓練時間		
		学科	実技	
操作・運転に関する法的に必要な知識。応用知識	(技能講習) イ. 車両系建設機械の構造 ロ. 車両系建設機械の取り扱い ハ. 車両系建設機械の運転の仕方 ニ. 車両系建設機械に関する法令 ホ. 車両系建設機械に関する力学・電気 ヘ. 演習	13		
		合計	13	
使用する機械器具等				
備考				

科目の内容・細目シート

科目	小型移動式クレーンに関する知識	時間	13時間	
到達水準	小型移動式クレーンの機能を知っている。			
	運転に必要な力学、電気を知っている。			
	装置の構造を知っている。			
	関係法令を知っている。			
科目の内容	内容の細目	訓練時間		
		学科	実技	
操作・運転に関する法的に必要な知識。応用知識	(技能講習) イ. 小型移動式クレーンの構造 ロ. 小型移動式クレーンの取り扱い ハ. 小型移動式クレーンの運転の仕方 ニ. 小型移動式クレーンに関する法令 ホ. 小型移動式クレーンに関する力学 ヘ. 演習	13		
		合計	13	
使用する機械器具等				
備考				

科目の内容・細目シート

科目	玉掛けに関する知識	時間	12時間	
到達水準	玉掛けに関する力学を知っている。			
	玉掛けの用具と使い方を知っている。			
	関係法令を理解している。			
	合図の種類とやり方を知っている。			
科目の内容	内容の細目	訓練時間		
		学科	実技	
玉掛けに関する法的に必要な知識。応用知識	(技能講習) イ．クレーンの種類 ロ．玉掛けに関する力学、質量計算 ハ．玉掛けで使用する用具 ニ．玉掛けに関する法令 ホ．合図のやり方 ヘ．演習	12		
		合計	12	
使用する機械器具等	玉掛け用具一式			
備考				

科目の内容・細目シート

科目	就職基礎能力	時間	35時間	
到達水準	自己分析により、自己の強み、弱みを理解できた。			
	ジョブカードが適切に記入できる。			
	職業に対する自分の希望が明確になり、就職活動に意欲的になった。			
科目の内容	内容の細目	訓 練 時 間		
		学科	実技	
コミュニケーション能力と自己啓発	アイスブレイク 座学と演習	7		
	自己分析 コミュニケーション力と情報管理 座学と演習	14		
	社会人としての矜持	7		
キャリアコンサルティング ジョブカードの記入	キャリア・コンサルティングと評価シート記入	4		
	就職相談	3		
		合計	35	
使用する機械 器具等				
備 考				

科目の内容・細目シート

科目	車両系建設機械の運転と操作	時間	25時間～56時間	
到達水準	安全に配慮した運転操作（指差し確認、合図）ができる。			
	整地、運搬、積み込および掘削等基本操作ができる。			
	スムーズな走行ができる。			
	現場に則した応用作業ができる。			
科目の内容	内容の細目	訓 練 時 間		
		学科	実技	
操作資格取得に当たって必要な技能・実作業に必要な技能	基本操作の習得 イ．運転前安全確認（車両点検） ロ．合図の仕方（警笛ホーンの鳴らし方） ハ．車両系建設機械の走行（前進、後進、屈曲走行） ニ．掘削の基礎操作 ホ．埋め戻しと転圧 ヘ．側溝の掘削 ホ．高所への上り下り チ．押土作業 応用操作の習得 イ．旋回（スピントーン）操作 ロ．窪地からの脱出操作 ハ．レベル測量の実践 ニ．ダンプへの積み込み実作業 ホ．側溝の横断操作		25	
			31	
	合計		25～56	
使用する機械器具等	車両系建設機械CAT 308CCR 028			
備 考	運転技能講習は、法令上必要不可欠な時間内の履修(25時間)を原則とし、登録教習機関への再委託も可能として資格取得を優先させる。また、実施機関において履修効果を高める必要性があれば、56時間まで延長することも可能とする。			

科目の内容・細目シート

科目	小型移動式クレーンの運転と操作	時間	7時間～56時間
到達水準	安全に配慮した運転操作（指差し確認、合図）ができる。		
	フックの移動、旋回、巻き上げ、巻下げがスムーズにできる。		
	合図に従った操作ができる。		
	現場に則した応用作業ができる（リモコン操作を含む）。		
科目の内容	内容の細目	訓練時間	
		学科	実技
操作資格の取得に当たって必要な技能・実作業に必要な技能	基本操作の習得（技能講習） イ．操作レバーの取り扱い ロ．合図の仕方 ハ．フックの振れ止め操作 ニ．規定時間内操作 応用操作の習得 イ．合図に従った実作業（2人1組） ロ．障害物対する実践操作 ハ．リモコン操作による積み込み積み下ろし		7
			49
	合計		7～56
使用する機械器具等	小型移動式クレーンFR32FB3004668 玉掛け用機材一式 玉掛け用重量物		
備考	運転技能講習は、法令上必要不可欠な時間内の履修(7時間)を原則とし、登録教習機関への再委託も可能として資格取得を優先させる。また、実施機関において履修効果を高める必要性があれば、56時間まで延長することも可能とする。		

科目の内容・細目シート

科目	玉掛け作業の操作	時間	7時間～56時間	
到達水準	荷物質量が算出できる。			
	合図が正確にできる。			
	安全に配慮した作業ができる。			
	吊荷物にあった道具の選定と玉掛けができる。			
科目の内容	内容の細目	訓 練 時 間		
		学科	実技	
作業資格の取得に当たって必要な技能・実作業に必要な技能	基本作業の習得（技能講習） イ．荷姿からの荷物質量の算出 ロ．笛による合図の方法 ハ．玉掛けの手順 応用作業の習得 イ．色々な形状の質量算出 ロ．物質、形状別の玉掛け方法と実作業 ハ．現場を想定した実作業2人1組　3人1組 ニ．手、笛による合図と実作業		7	
			49	
	合計		7～56	
使用する機械器具等	玉掛け用具一式　玉掛け用重量物			
備　　考	運転技能講習は、法令上必要不可欠な時間内の履修(7時間)を原則とし、登録教習機関への再委託も可能として資格取得を優先させる。また、実施機関において履修効果を高める必要性があれば、56時間まで延長することも可能とする。			

科目の内容・細目シート

科目	合図の手順	時間	14時間
到達水準	笛、旗、手による合図の手順を理解している。		
	現場作業において適切な合図ができる。		
科目の内容	内容の細目	訓練時間	
		学科	実技
作業コミュニケーションツールの利用方法	イ. 車両系建設機械操作時の合図 ロ. 小型移動式クレーン操作時の合図 ハ. 安全確認と指差し呼称 ニ. 実践演習		14
		合計	14
使用する機械器具等			
備考			

科目の内容・細目シート

[illegible]

使用教材リスト

訓練科名：建設機械サービス科

[illegible]

※上記については、特定の出版社および書籍の宣伝や推奨をするものではありません。最終判断はご利用者自身となりますのでご注意ください。各教材の詳細情報や最新情報を取得したい場合は、出版社情報等を参考に各自でお問い合わせください。

委託訓練モデルカリキュラム

訓練科名		ビジネス・サービススキル養成科		就職先の職務	接客サービス・ＯＡ事務	
訓練期間		平成 年 月 日～平成 年 月 日 (3か月間)				
訓練目標		・ パソコンを使用した販売促進ツール（ＰＯＰ、チラシ、Webページ）の作成および販売事務管理ができる。 ・ サービス・流通に関する知識を用い、顧客ニーズを的確に捉えることができる。 ・ 接客マナー知識とコミュニケーションスキルを用い、質の高い接客ができる。				
仕上がり像		接客サービス業務・事務系職務における基礎的職務能力を有し、職業人としてのリテラシーを身につけ、関連業務の仕事に携わることができる人材。				
訓練の内容	科 目		科 目 の 内 容		訓練時間	
	学 科	販売知識	小売業の種類、マーケティング、販売管理、マーチャンダイジング、ストアオペレーション		30	
		接客サービス知識	コミュニケーション論、サービス接遇、交渉技法、クレーム対応		33	
		カラーデザイン知識	色彩知識、色の見え方、色相心理・イメージ、配色効果、レイアウトとデザイン		21	
		パソコン基礎知識	コンピュータの基本構成と動作原理、記憶装置、周辺機器、ネットワークの構成、情報・セキュリティリテラシー		9	
		ネットショップの知識	ネットショップとは（実店舗との違い）、必要な届け出・許可、集客方法、決済方法、受注処理・運営		20	
		接客英会話	お客様への挨拶、商品を勧める、お会計、お見送り、クレーム対応等		10	
		職業人基礎力講習	コミュニケーション理論、傾聴スキル、表現スキル、アサーション、コーチング、職業人講話		21	
		就職基礎能力講習	就職相談、企業情報収集、面接対策、コミュニケーション能力と自己啓発、ジョブ・カードの書き方とキャリア・コンサルティング等		32	
	実 技	ショップ運営実習	ディスプレイ、商品陳列、ＰＯＰ作成、接客・接遇、ラッピング、会計処理（ipad使用）、売上・在庫管理		24	
		パソコン基本操作実習	Windows8.1基本操作、タイル・サムネイル・エクスプローラー操作、デスクトップ切替、インターネット		9	
		ビジネス文書作成実習	ビジネス文書作成実習、インデント、文字装飾、画像の挿入、色調補正		33	
		表計算活用実習	表・グラフ作成、計算式入力、オートフィル、関数、置換、ソート		33	
		Webデザイン実習 ・ ネットショップの運営実習を含む ・ プレゼンテーション実習を含む	HTMLとCSSを活用したホームページ作成、リンク指定、画像配レイアウト、ウェブサイトの制作と発表、ネットショップの作り方・構築		100	
訓練時間総合計		学科	176	実技	199	375
主要な機器設備 (参考)		パソコン、プリンタ、プロジェクタ、スクリーン				

科目の内容・細目シート

科目	販売知識	時間	30時間
到達水準	流通業・サービス業のマーケティングに関して基本的な内容を知っている。		
	扱っている商品・サービス等に興味を持ち、消費者・ユーザーとしての視点を 持った検討の仕方を知っている。		
科目の内容	内容の細目	訓 練 時 間	
		学科	実技
1 小売業の種類	1) 流通における小売業、流通経路別小売業 2) 形態別小売業、店舗形態別小売業 3) チェーンストア、商業集積の基本的役割と仕組み	3	
2 マーチャンダイジング	1) 商品、マーチャンダイジング、商品計画の基本 2) 仕入計画、在庫管理、販売管理 3) 価格設定、利益追求の基本	6	
3 ストアオペレーション	1) ストアオペレーション 2) ディスプレイ 3) 作業割当て、人的販売の基本的考え方	3	
4 マーケティング	1) 小売業のマーケティング 2) 顧客管理 3) 販売促進 4) 商圏の設定と出店 5) 売場づくり	12	
5 販売・経営管理	1) 販売員の基本 2) 販売員の法令 3) 販売事務と計数管理の基本 4) 売場の人間関係 5) 店舗管理の基本的役割	6	
		合計	30
使用する機械・器具等			
備 考			

科目の内容・細目シート

科目	接客サービス知識	時間	33時間	
到達水準	挨拶・笑顔・お辞儀・言葉使いの基本動作を知っている。			
	お客様からの問い合わせや相談に対して適切な対応の仕方を知っている。			
科目の内容	内容の細目	訓練時間		
		学科	実技	
1 コミュニケーション論	1) 人間関係 2) 接客知識	6		
2 サービス接客	1) サービススタッフの資質 2) サービス専門知識 3) 社会・一般常識	12		
3 交渉技法	1) 交渉の基本 2) 接客時のバーバルとノンバーバルコミュニケーション 3) スタッフ同士のコミュニケーション	9		
4 クレーム対応	1) クレームの捉え方、クレーム対応の3ステップ 2) タイプ別クレーム対応、ハードクレームへの対応	6		
</				

科目の内容・細目シート

科目	カラーデザイン知識	時間	21時間	
到達水準	色の三属性（色相・明度・彩度）を知っている。			
	色光の三原色（RGB）と色料の三原色（CMY）を知っている。			
科目の内容	内容の細目	訓練時間		
		学科	実技	
1 色彩知識	1) 色とは 2) デザインの本質 3) グラフィックデザインの歴史	3		
2 色の見え方	1) 色が見える仕組み 2) CMYK、RGB、PCCS知識	3		
3 色相心理・イメージ	1) デザインにおける色 2) 基調色 3) 色相心理、イメージ	3		
4 配色効果	1) 見やすさと色の役割 2) セパレートカラー 3) ユニバーサルカラー	3		
5 レイアウトとデザイン	1) 文字の基礎知識 2) 文字色と背景色 3) ロゴデザインの基本 4) レイアウトの基礎 5) 新規店舗ロゴ制作	9		
		合計	21	
使用する機械・器具等				
備 考				

科目の内容・細目シート

科目	パソコン基礎知識	時間	9時間
到達水準	パーソナルコンピュータの基本的な使用方法を知っている。		
	ハードウェア、ソフトウェアそれぞれの動作を知っている。		
科目の内容	内容の細目	訓練時間	
		学科	実技
1 コンピュータの基本構成と動作原理	1) コンピューターと五大装置 2) ハードウェアとソフトウェア	2	
2 記憶装置	1) 記憶装置の種類と役割	1	
3 周辺機器	1) 入出力装置の種類	1	
4 ネットワークの構成	1) ネットワークの特徴 2) インターネットの仕組み	2	
5 情報・セキュリティリテラシ	1) コンピュータウィルス対策 2) 情報社会の問題点	3	
合計		9	
使用する機械・器具等			
備考			

科目の内容・細目シート

科目	ネットショップの知識	時間	20時間
到達水準	ネットショップ開業に必要なことを知っている。		
	ネットショップの運営方法を知っている。		
科目の内容	内容の細目	訓練時間	
		学科	実技
1 ネットショップとは	1) ネットショップと実店舗の違い 2) 開業に必要な許認可	4	
2 集客方法	1) 各種公告媒体の利用、ＳＥＯ、ＳＮＳの利用	8	
3 ネットショップ運営実務	1) 受注管理、ネット上での決済方法	8	
合計		20	
使用する機械・器具等			
備考			

科目の内容・細目シート

科目	接客英会話	時間	10時間	
到達水準	英会話の基本フレーズを知っている。			
	様々なシチュエーションで使用する英会話フレーズを知っている。			
科目の内容	内容の細目	訓 練 時 間		
		学科	実技	
1 基本的なフレーズ	1) お客様への挨拶、お詫び、お見送り	3		
2 シチュエーション別フレーズ	1) 商品の案内 2) 商品を勧める 3) 会計でのやりとり	7		

科目の内容・細目シート

科目	就職基礎能力講習	時間	32時間	
到達水準	自分の能力が十分に発揮できる目標の設定の仕方を知っている。			
	新しい知識や技術の吸収、情報収集方法を知っている。			
科目の内容	内容の細目	訓 練 時 間		
		学科	実技	
1 企業情報収集	1) ハローワークインターネットサイトの検索 2) 企業ホームページの検索	2		
2 応募書類の作成	1) 履歴書作成 2) 自己PR・志望動機作成 3) 職務経歴書作成	14		
3 面接試験対応	1) 立ち居振る舞い 2) ロールプレイ	4		
4 就職支援	1) 個別面談 2) ハローワーク相談	12		

科目の内容・細目シート

科目	職業人基礎力講習	時間	21時間
到達水準	一方的に話すことなく、相手の立場を尊重し、話をよく聞く意味を知っている。		
	挨拶、敬語、ビジネス・マナーなどTPOに即した適切な行動の仕方を知っている。		
科目の内容	内容の細目	訓練時間	
		学科	実技
1 コミュニケーション理論	1) 自己紹介と他己紹介 2) アイスブレイク 3) チームコミュニケーション理論	5	
2 傾聴スキル	1) 傾聴理論 2) 傾聴技法とロールプレイ	2	
3 表現スキル	1) 表現技法	1	
4 アサーション	1) アサーション理論 2) アサーション技法とロールプレイ	2	
5 コーチング	1) コーチング理論 2) コーチング技法とロールプレイ	2	
6 職業人講話	1) 飲食業におけるホスピタリティーとは 2) 観光業におけるホスピタリティーとは 3) 旅館業におけるホスピタリティーとは	9	
合計		21	
使用する機械・器具等			
備考			

科目の内容・細目シート

科目	ショップ運営実習	時間	24時間
到達水準	親切な売り場案内を実施することができる。		
	プライスカード・POPの作成ができる。		
科目の内容	内容の細目	訓練時間	
		学科	実技
1 ディスプレイ	1) 「バースデーパーティー」をテーマにしたディスプレイの実践		3
2 商品陳列	1) 食器、タオルの商品陳列の実践		3
3 POP作成	1) 仮想店舗のロゴ・紙袋デザインの作成		6
4 接客・接遇	1) お客様のお迎えから見送りまでの作法の実践		3
5 ラッピング	1) 箱包み、袋包み、リボンワークの実践		6
6 会計処理	1) レジ会計の仕方とバーコードの読み取り実践		1
7 売上・在庫管理	1) ABC分析		2
		合計	24
使用する機械・器具等			
備 考			

科目の内容・細目シート

科目	パソコン基本操作実習	時間	9時間
到達水準	OSの基本操作ができる。		
	文字データの種類を理解し、PCでの基本的な文字入力ができる。		
科目の内容	内容の細目	訓練時間	
		学科	実技
1 Windows8.1基本操作	1) 起動からシャットダウンまでの流れ		2
2 タイル・サムネイル エクスプローラー基本操作	1) スタート画面、アプリビューの使い方 2) チャームの使い方 3) エクスプローラーの使い方		3
3 デスクトップ切替	1) デスクトップ画面での各種操作		2
4 インターネット	1) インターネットエクスプローラーの操作		2
	合計		9
使用する機械・器具等			
備 考			

科目の内容・細目シート

科目	ビジネス文書作成実習	時間	33時間	
到達水準	ワープロソフトを用いて基本的な文書を的確に作成することができる。			
	ビジネス文書の種類、構成等について基本を理解し、定型的なビジネス文書を作成することができる。			
科目の内容	内容の細目	訓練時間		
		学科	実技	
1 ビジネス文書作成	1) 社内文書のレイアウト 2) 社外文書のレイアウト		21	
2 インデント	1) インデントの設定		1	
3 文字装飾	1) 下線、網掛けなど文字の編集		3	
4 画像の挿入	1) オブジェクトの挿入 2) オンライン画像の挿入		5	
5 色調補正	1) 挿入した画像の編集		3	

科目の内容・細目シート

科目	表計算活用実習	時間	33時間	
到達水準	表計算ソフトを用いて基本的な作表やグラフ作成ができる。			
	分類結果のExcel等の入力ができる。			
科目の内容	内容の細目	訓 練 時 間		
		学科	実技	
1 表・グラフ作成	1) 表へのデータ入力・編集 2) 表データからグラフへの変換		15	
2 計算式入力	1) 四則演算		1	
3 オートフィル	1) 連続データの入力		1	
4 関数	1) 様々な関数を使用した計算式の入力		14	
5 置換	1) 検索と置換		1	
6 ソート	1) データの並べ替え		1	

科目の内容・細目シート

科目	W e bデザイン実習	時間	42時間	
到達水準	HTMLの仕組みやマークアップ手段の概要を理解し、Webページを作成することができる。			
	サーバへのデータアップロードについての手法を把握し、実行することができる。			
科目の内容	内容の細目	訓 練 時 間		
		学科	実技	
1 HTMLとCSSを活用した ホームページ作成	1) HTML 記述 2) タイトル・見出し 3) コピーライト 4) CSS ソースについて 5) 文字サイズ指定 6) 文字色指定		36	
2 リンク指定	1) リンク先ページ 2) ハイパーリンク指定		3	
3 画像配置	1) Img要素マークアップ 2) 画像表示位置の調整		9	
4 レイアウト	1) ページの構成		6	
5 ウェブサイトの制作と発表	1) サイトの制作 2) プレゼンテーション資料の作成 3) プレゼンテーション		43	
6 ネットショップの作り方・構築	1) 訴求力のあるサイトの作り方		3	
		合計	100	
使用する機械・器具等				
備 考				

使用教材リスト

訓練科名：ビジネス・サービススキル養成科

教材名	出版社名	教材使用科目（分野）
販売士3級一発合格テキスト問題集	翔泳社	販売知識、ショップ運営実習
1回で合格！販売士検定3級過去問題集15年版	成美堂出版	販売知識
サービス接客検定2級 受験ガイド	早稲田教育出版	接客サービス知識、ショップ運営実習
サービス接客検定実問題集1-2級	早稲田教育出版	接客サービス知識
配色&カラーデザイン	ソフトバンク クリエイティブ	カラーデザイン知識、ショップ運営実習
これだけは知っておこう！情報リテラシー	n o a 出版	パソコン基礎知識
サクサクわかるWindows 8.1	マイナビ	パソコン基本操作実習
はじめてのWord & Excel & PowerPoint2013	秀和システム	ビジネス文書作成実習、表計算活用実習、 プレゼンテーション実習
はじめてのHTML+CSS	秀和システム	W e b デザイン実習
職業人基礎力講習参考資料	—	職業人基礎力講習
就職基礎能力講習参考資料	—	就職基礎能力講習
日本語ワープロ検定模擬問題	—	ビジネス文書作成実習
情報処理技能検定試験表計算模擬問題	—	表計算活用実習

※上記については、特定の出版社および書籍の宣伝や推奨をするものではありません。最終判断はご利用者自身となりますのでご注意ください。各教材の詳細情報や最新情報を取得したい場合は、出版社情報等を参考に各自でお問い合わせください。